

身近な から 地球環境を考えよう

小田原市内の図書館では、地球環境に関する児童書を多く貸出しているボン。
「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」の実現のため、わたしたちにできること。
まずは、今を知ることからはじめるボン！



ゼロカーボン推進キャラクター
ボンボンちゃん



表の見方

請求番号	書名	本の内容
著者名・出版者		



地球を知る

455

加古 里子／文・絵
福音館書店

地球 その中をさぐる

植物や虫、動物やひとは、地球の中をうまく使って暮らしている。長い時間をかけて自然がつくりあげていった地球内部のすごい力や仕組みを知る。

E子ミドリ

松岡 たつひで／作・絵
金の星社

ちきゅうの かいだん

ドアを開けると、時代をさかのぼるふしぎな階段があった。下へ下へと続く長い階段をおりて、46億年前の地球を見に行く旅へ行こう！



地球温暖化・エネルギー問題を知る

519

K.S.シュライバー／文
S.マリアン／絵
竹内 薫／監修
松永 美穂／訳
西村書店

気温が1度上がると、 どうなるの？

この150年の間に、地球の気温は平均1度上がっている。エネルギーを大量に使う人間の暮らしが自然環境にどんな影響を与えているのか、気候変動のしくみを解説する。

Eワア

ジャネット・ウィンター
／文・絵
福本 友美子／訳
鈴木出版

わたしたちの家が火事です

地球の温度が上がっている。地球を救おうと一人の女の子が世界中に呼びかけた。
「どんなに小さくても何かを変えることはできます」

Eホア

ロバート・E.ウェルズ／作
せな あいこ／訳
評論社

ホッキョクグマくん、 だいじょうぶ？

北極の氷がとけると海水があたためり、その熱が空気をあたためる。北極の温度が上がるとどうして困るのか？ホッキョクグマの暮らしを守るためにできることはなんだろう？

地球温暖化・エネルギー問題を知る

Eサオ ジャン＝リュック・フロマンタ ル／文 ジョエル・ジョリヴェ／絵 石津 ちひろ／訳 ブロンズ新社	365まいにちペンギン	1月1日の朝、家に届いたのは1羽のペンギン！それから毎日、1羽ずつ増えていくペンギンに悩みながらも迎えた大晦日。家を訪ねてきたのは……？
Eシ 三浦 太郎／作 ほるぷ出版	CO2のりものずかん	いろいろな乗り物がどのくらいCO2（二酸化炭素）を出しているのか。人間や動物も出している、目には見えないCO2の量を数字で比較し、体感する。
Eハミドリ まつむら ゆりこ／作 小林 マキ／絵 福音館書店	はじまりはたき火	大昔から人間は火を利用してきた。便利になった暮らしは、地球環境を大きく変化させた。人が火と暮らしてきた歴史をたどりエネルギー問題を考える。

環境破壊・ごみ問題を知る

Eチア ばーじにあ・リー・ばーとん ／文・絵 いしい ももこ／訳 岩波書店	ちいさいおうち	静かな丘に建っていたちいさいおうちは、まわりがにぎやかな町になるにつれて、花が咲く丘を懐かしむ。長く読み継がれる絵本から、開発で失われるものを考える。
Eゾミドリ 横塚 眞己人 ／しゃしんとぶん そうえん社	ゾウの森とポテトチップス	ボルネオ島に住むゾウたち野生の生き物が危ない！熱帯雨林の木を切り、生き物が暮らす場所が減っているのは、わたしたちが知らないうちに使っているパーム油が原因だった。
Eホア ミランダ・ポール／文 エリザバス・ズノン／絵 藤田 千枝／訳 さ・え・ら書房	ポリぶくろ、1まい、すてた	ポリ袋を1枚、道にすてた。ゴミはどんどん増えて山になった。村をきれいにしようと、アイサトは仲間たちとリサイクルの財布を作りはじめた。
Eヤ 五十嵐 美和子／作・絵 PHP研究所	ヤマネコとアザラシ ちょうさだん	海のごみに困っているアザラシが、助けを求めてやってきた。世界中の言葉がわかるヤマネコと時計職人のおじいさんとともに、海を掃除するための機械を作ろう。

🌍 環境破壊・ごみ問題を知る

576

大西 暢夫／著
アリス館

和ろうそくは、つなぐ

何人も職人の仕事がつながり、和ろうそくは作られる。昔ながらのモノづくりでは、使い終わったものが次の手でいかされ、捨てることなく、めぐっていく。

🌍 命のつながり・生態系を知る

E7ア

キャスリン・O.ガルブレイス
／作
ウエンディ・アンダスン・ハル
パリン／絵
梨木 香歩／訳
のら書店

わたしたちのたねまき

風、鳥、太陽、雨、動物、そして人間が、地球という大きな庭にたねをまき、そだてている。くりかえしくりかえし、つながっていく命のはなし。

E7ア

ローラ・M.シェーファー／文
アダム・シェーファー／文
フラン・プレストン＝ガノン／
絵
せな あいこ／訳
評論社

たったひとつの
ドングリが

たったひとつのドングリが、木になり、種が落ち、花が咲き、実がなり、森になる。ドングリは、植物と動物の命をつなぐもとなる。食物連鎖を知る。

Eイミドリ

大片 忠明／さく
福音館書店

イワシ
むれでいきるさかな

数えきれないほどのイワシの群れは、鳥や魚に襲われ、数を減らす。小さくなった群れはやがて大きな群れと合体する。厳しい自然を生き抜くための生き物の知恵を知る。

Eシ

最勝寺 朋子／作・絵
岩崎書店

しらすどん

ご飯の時間にしらすを食べ残したりようくんは、気づくと自分がしらすになってどんぶりの中へ入っていた。命を大切に食べること、食品ロスを考える。

Eス

高久 至／写真・文
アリス館

すいめん

わたしたちが暮らす空の世界と、魚たちが暮らす海の世界の境界線、すいめん。地球の海は水面でどこまでもつながり、わたしたちにもつながっている。